

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

2月17日(土)～25日(日) 今年も力作が揃いました

西浅井運動広場体育館で13回目となる「奥びわ湖書き初め展覧会」が行われました。

初日には、西浅井出身の県書道協会理事 ^{おおた さきょう} 大田佐亨さんの作品講評や、伊吹高校書道部による書道パフォーマンスが行われました。今年には各部門合わせて739点の力作が並び、審査にあたった大田さんは「芸術性の高い魅力ある作品が集まった」と講評。作品のレベルの高さを讃えていました。



2月18日(日) 野球界の大スターから教わる人生哲学・指導論

長浜文化芸術会館で行われた桑田真澄氏のスポーツ講演会に、およそ450人が集まりました。

甲子園5期連続出場、その後プロ野球選手、メジャーリーガーとして活躍した桑田さん。野球から学んだ人生哲学や指導論などを語ったほか、会場とのコミカルな掛け合いなどで時折笑いが起こりました。来場者は桑田さんの話を目を輝かせながら熱心に聴いていました。



2月23日(金) 夢が広がるビジネスプラン

6次産業化など、新たなビジネスモデルの知識や技術の習得を目的とした農業版創業塾「ながはまアグリベンチャースクール」の第2期受講生の発表会と修了式が行われました。

16人の受講生がそれぞれのビジネスプランについて発表。発表者は画期的で実用的なビジネスプランをいきいきと語りました。発表したプランの実現と受講生たちの今後の活躍が期待されます。



2月24日(土) 祭を支える若衆の心意気

ユネスコ無形文化遺産となり、日本の祭から世界の祭になった長浜曳山祭。昨年は9万人の人出で賑わい、今年もそれ以上の人出が見込まれます。

観客の健康や安全を守るため、若衆会のメンバー24人が曳山博物館伝承スタジオで救命講習を受講しました。講習では、胸骨圧迫や人工呼吸に挑戦。曳山祭を成功させたいという強い思いから、全員が真剣に受講していました。



長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿していただくと、長浜市公式Instagramアカウントで紹介する「# みんなのちょびっく」はじめました。詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲長浜市ほっとにゅへす

3月3日(土) GO!GO!余呉小 輝け未来へ

今年の3月で閉校となる余呉小学校の閉校記念事業として音楽劇「けやけしき未来へ～余呉千年物語～」を全校児童が演じました。ふるさと余呉の伝説や歴史、伝統文化、自然を題材として創作されたこの音楽劇。子どもたちは大きな声と動きでそれぞれの役を元気に演じました。

余呉小学校はこの4月から鏡岡中学校と一つになり、余呉小中学校として新たなスタートをきります。



3月3日(土) コンサートを楽しみながら避難訓練

湖北文化ホールで、今回で4回目となるスプリングドリルコンサートが行われました。

「もしコンサート中に災害が起こったら」をテーマに、避難訓練も兼ねるこのコンサート。演奏中に突然緊急地震速報が流れ、避難訓練が始まります。訓練後はコンサートが再開され、来場者は演奏を聞きリラックスするとともに、避難訓練の講義にメモを取るなど、楽しみながら災害への備えを体験しました。



3月4日(日) すべての隊員が定住へ

余呉文化ホールで、長浜市地域おこし協力隊の報告会が開催され、これまでの実績や課題、今後の展望などが語られました。

隊員たちは迎え入れてくれた地域住民の温かさに触れ、「人とのつながりを作ってくれた」、「長浜を選んでくれてありがとう、と喜んでもらえて救われた」など、受け入れる側の意識や体制も活動の成果に大きく影響したことを明かしました。隊員たちは任期を終えた後も定住する見通しです。



3月17日(土) 中心市街地の交流の拠点に

旧市役所跡に建設する産業文化交流拠点施設の起工式が行われました。

中心市街地の活性化に向け、文化、地域交流、市民活動支援などの機能を併せ持つ文化福祉施設として建設するもので、関係者約100人が出席しました。

オープンは平成31年11月の予定で、施設内には市民が利用できる図書館などが入ります。

